

2004 FANTASY WIND YURA SHINANO EDO+ALU×WIN BOOK

FRAGMENT OF FUTURE



FRAGMENT OF FUTURE

2004 FANTASY WIND
YURA SHINANO

FULLMETAL ALCHEMIST

THE BOOK OF THE PARALLEL WORLD OF THE NEAR FUTURE

EDO+ALU×WIN BOOK

FOR ADULT ONLY







元の体に
戻ってから
3年

あはは
あいかわらずだね
ウィンリイ

魂のスレもなく
感覚も
良好



き……っ

来てたなら
声ぐらい
かけなさいよ!!

かけたよ何度も！
機械鎧に夢中で
気付かなかった
だけだろ

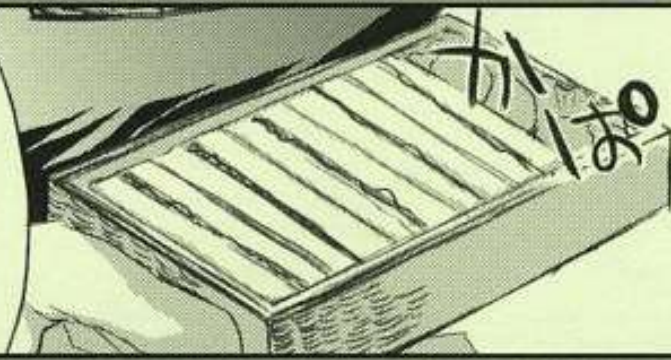
はー



はい
差し入れ

わ♡

サンドイッチだ♡



夢中になるのも
いいけど
ちゃんと食べなきゃ
だめだよ

えへへ

生活も
充実していて

ありがと!



とても
幸せだと思う



少しぐらい
やせた方が
いいんじゃない
ねえの?



可愛さ〜
Kawaii Genshō
shōjō no
shōjō no
shōjō no
shōjō no

短気で

ケンカっばやくて

そのくせ鈍感で

でも

元の体に戻った時

声をあげて泣いてくれた

あたたかくて

ここちよくて

ただ ながめてるだけでよかったんだ

笑っていてくれれば

それでよかったんだ

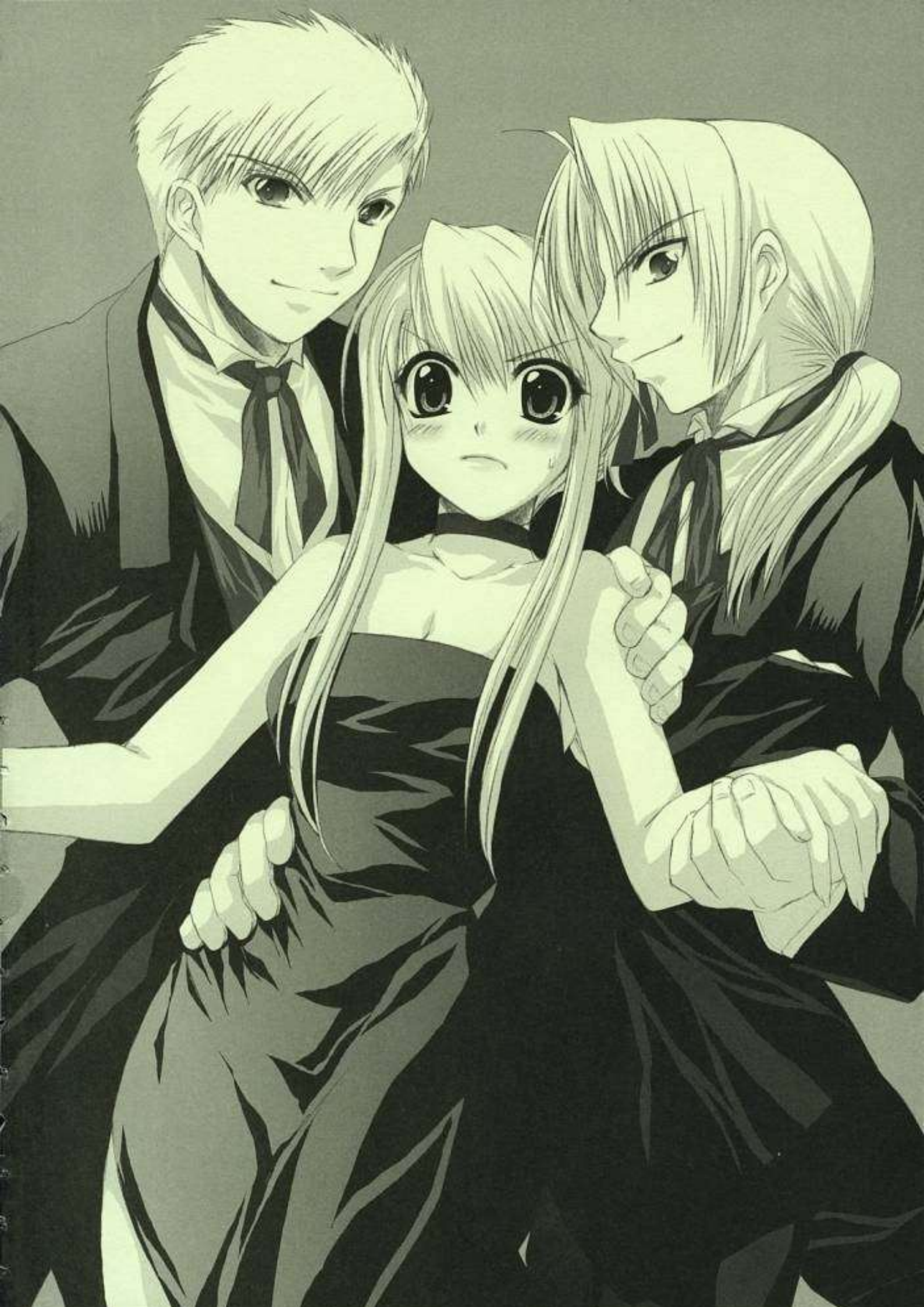
FRAGMENT OF FUTURE

2004 FANTASY WIND

YURASHINANO

FINAL FANTASY ARCHIVES

THE BOOK OF THE FAY WORLD OF THE SEABOARD



FRAGMENT OF FUTURE

2004 FANTASY WIND YUWA SHINANO EDO+ALU×WIN BOOK

Shall I invite to a stimulative act?

こんにちは。しなのゆらです。
續パラレル本です。
原作から数年後です。皆ちよっとおっきくなってます。
もうそうです。
ひとりよがりです。
いろいろごめんなさい（先に謝っておこう

アルが年相応の体に戻って
三角関係だったらいいなっていう話です。
生暖かい目で見てやって下さると幸いです。

「ウィンリィは凄いやね
ちゃんとお店やってさ」
「あんたたちだって凄いやないの」
「まだ若いのに少尉よ！
あいつにいたっては中佐だなんて
凄すぎて笑っちゃうわ」
「あはは
それだけ国家錬金術師ってのは
すごいんだよ」

あの時
兄さんの左足は元に戻ったけれど
右腕だけは元に戻らなかった
「あ、アル そのシート取ってもらえないかな」
「あ、うん」
もしかしたら他にも元に戻る方法があるかもしれないから
また旅に出てもいいって言ってみただけ
『実験台も悪くねえだろ』
「これでいいの？」
「うん。ありがとう」
理由なら知ってる
あいつの ため

いつかの夜の2人

「つつ…」
「アル？ どうしたの？」
「あ…いや…、べつに…」
兄さんは
気付いてないとも思ってるんだろうか
(なんで…
言ってくれないんだろう

「さ、終わり！
お茶にしようか
お腹すいちゃった

「あのさ…ウィンリィ…」
「ん？」
「聞いてもいいかな…」
「？ 何を？」

「兄さんのこと
どう思ってるの？」

「……！」

「どうって…
別にただの幼馴染じゃない」
「え…？」
「昔からの腐れ縁っていうか
手のかかる弟っていうか
お兄ちゃんっていうより弟よね」
なんで
「アルだって同じ幼馴染じゃない」

「ただの幼馴染はあんなことしない！」
「……」

「あんな…こと…って… (かあつ)
「幼馴染だったら
ああいうことするの…？」

「幼馴染だったら
同じ幼馴染だったら
シてもいいの？」

あ…れ
「ア…ル…？」
何言って
(近い顔)
なに
かあああっ
「つつ…！！」
ご…め……っ！！
がたんっ
こんなの
違うだろ

「逃げんのか？」

「！！！」

「兄っ……」
「なさけねえなあ
男だったら勢いでいけ勢いで」
「なっ…聞い…；勢いでって
普通怒るところだろ！；」
「何で」
「何でって…！；」
「別につきあってるわけじゃねえし
俺に気使うのは間違ってるだろ」
「だって2人は…っ」
「ああ」

「別に好きじゃなくたって
やれんだろ」

どくん

「え…？
兄……？」

それは
「つつ……」
それは…っ

「アル」
「えっ あ ウィン…リ…」
(ウィンリィ、アルの手を握み
ぐいっ
「え…？」

むにゆ
「！！」
「しよっか」

「は…？」

「したいんでしょ…？」
「シっ；
したいとかそういうんじゃないで
えっ
あ

僕は

(むにゆ

「そ……の……っ！！！」
かああああ

「……
いいんじゃないの？」

「なっ
兄さん…！？；」
「なんなら手伝ってやろうか」
「どうせお前童貞だろ」
「なっ/////！！！」
「そっ…！そっ…う…だ…けど；；
そういう問題じゃないだろ！！！」

「ウィンリィが本気で…
「ウィンリィが言い出したんだろ」
「……………」

「え…？；」

「え……？」









本当に

いいのか？







んん…っ!!

あ…っんっ

っっ…



っあ…っ

あっ

んあっ

あっ



んん…っ



あ…っ

ふあ



っっ…っ

あ…っ

はっ

う…

は…



…
しょうが
ねえな…

俺がしたら
意味ねえだろ…









っつ…っつ
あっはあ♡

あっ…っつ…
あっ



う…あっ

あっ

いった…
か…?



あっ♡

な…っか…
あ♡



出る...よ...?

んんっ♡
んんっ

んんっ
んんっ♡

ふっ...ん

んんっ♡

んんっ

んんっ



ひ...や...り



あ...っ

い...や...り



っ...あ

ふ...や...り
あ...り



ひっ...
や...

ほんとに
入っ...てっ

ひっ...あっ

ニヤヤ

ヤ



ひっ...んっ



お前も
イけるよな

うん

全然
おさまんない

ひっ...

やっ...!?



ひっ...

ああああ

一本ずつじゃ
待って
られねえんだよ



や...っ
両方...は
ム...リ...っ

悪いな

ニヤヤ



あっ

あ♡

ふあっ

はっ



あっ

あっ

ひっ…っ

っ…っ



んは…っあ

あ…は



ウイン…
リイ…っ



あ…っ
う…っ

んっ…♡

ふ…あ



あっ♡

は♡あ

っ…あ♡





ひあああっ

しゅわん
しゅわん
しゅわん

しゅわん
しゅわん
しゅわん



熱...っ♡あっ

あ♡

あ♡



あ...っ
おしり...っ

りよっ...あ

しゅわん
しゅわん



ひは…っ♡

あ…っ
ふ…あっ



…っ…っ…っ

んうっ



あ…っ

あ…っ

ひ…あ…

は…っ



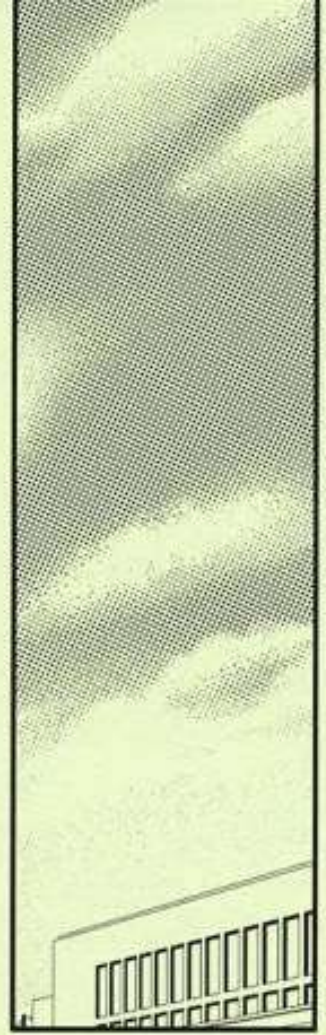
熱い

FRAGMENT OF FUTURE

2004 FANTASY WIND
YURASHINANO

IZUMIYU AICHIMET

THE EDGE OF THE PARALLEL WORLD OF THE NEAR FUTURE



カッ

償えるなら

コッ



なんでも
してやろうと
思ってた

つくぞ…

#1
4
7



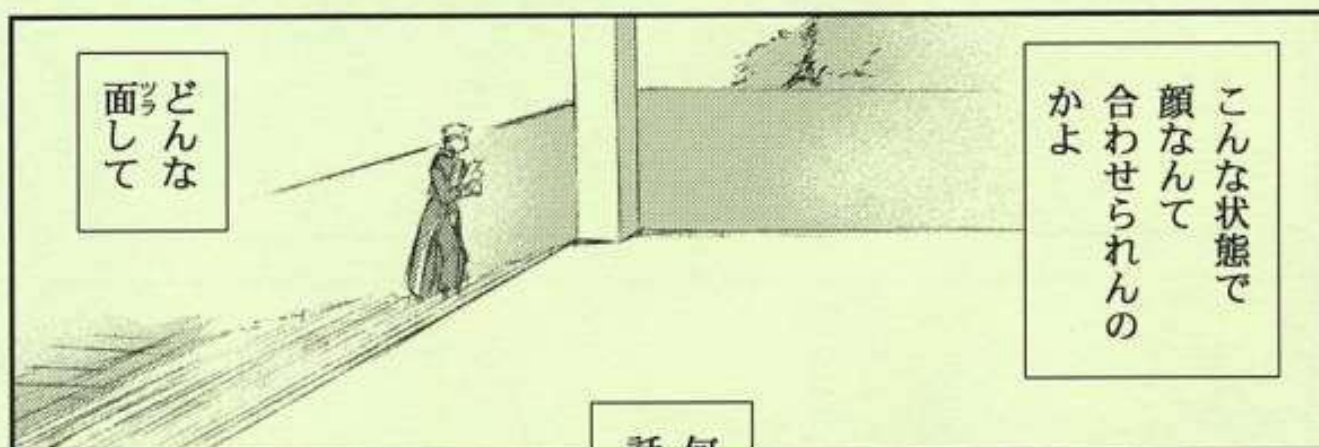


FRAGMENT OF FUTURE

2004 FANTASY WIND
YURA SHINANO

FULLMETAL ALCHEMIST

THE BOOK OF THE PARALLEL WORLD OF THE NEAR FUTURE





あれ

俺のは

ある……？

お前……!!

なんで
黙ってた!!

国家
錬金術師はさ

……

少佐相当の
地位が
あるんだよ

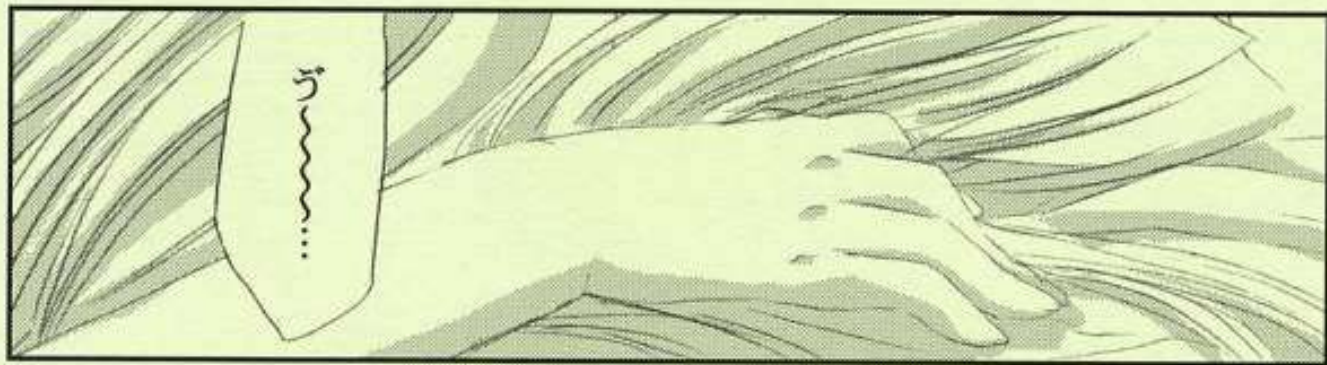
それが

どうした
ってんだよ

今日から
僕は
少尉じゃなくて
少佐になるんだ

いつまでも
追いかける
存在じゃない

ぼさっと
してると
持ってかれるよ



は…

よ
4

何も
言わないで
行っちゃった…

あたしの
気持ち
なんて

仕事
どうしよう

体動かないし
休んじや
おっかな…

はあ…

あやまん
なくちゃ…

さいしよから
決まってて

どうしようも
なくて…

気付いて

気付いて

なんで

素直じゃないの

気付いて

口で
言わなきゃ
伝わらないことも
あるのに

なんだよ
それ

好きにすれば
いいって…


いつだって
からまわりで

そうやって
いつまでも
しがみついていると
いいよ

過去に
取り残されて
ればいい

つつ…

気持ち
ばかり
先走って

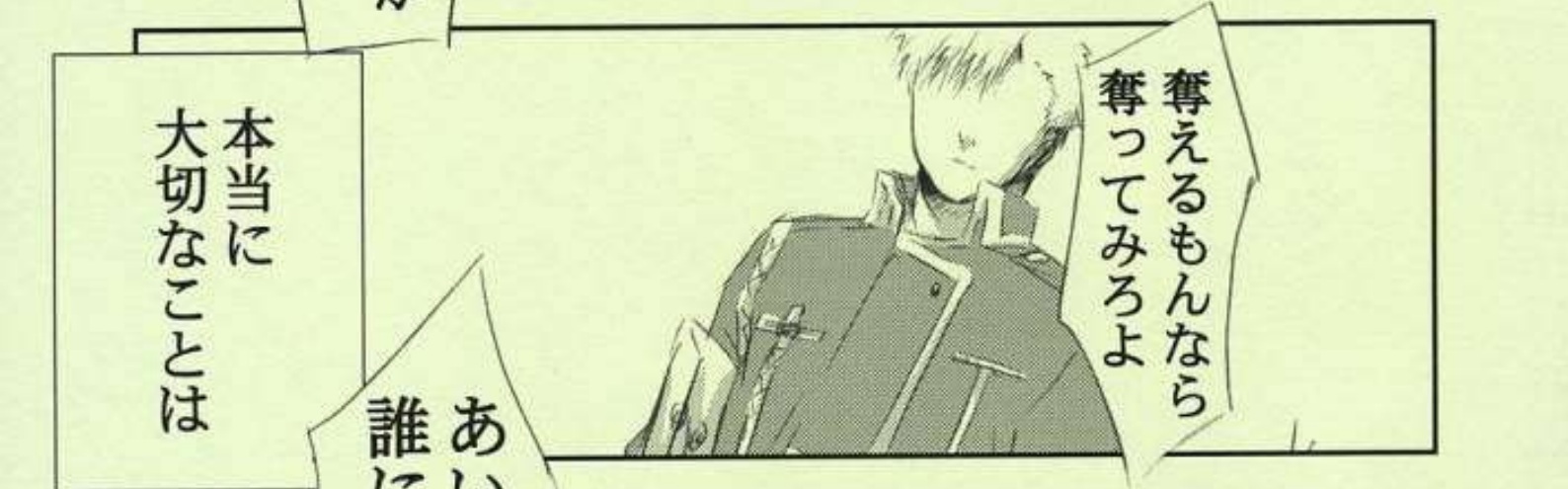


上等じゃねえか!!

オレを
甘くみんなよ

本当に
大切なものは

もう遠慮なんか
してやらねえ



奪えるもんなら
奪ってみろよ

本当に
大切なことは

あいつは
誰にもやらねえ!!



あははは

なっ

へへへ
ひゃ

何で
笑うんだよ!!



あ……?

ひゃ
ひゃ

ひゃ



は……
は

素直じゃない
2人だから

僕を
ずっと支え
続けてくれた
2人だから



ははは

あははは

あまりにも

くやしかったんだ
重荷に
なっていた
自分が



あはは

ひゃ……

ひゃ……

敵わないこと
なんて
はじめから
知ってた

くやしかったんだ
いつも兄さんに
敵わなかった
ことが

本当
素直じゃ
ないよね

帰ったら
ちゃんと
気持ち伝えなよ

今度は

僕が背中を
押す番だ

えっ

あ…うん

お前…

アルフォンス…



マンネリ化した時はいつでも呼んでね!!

呼ばねえよ

一歩も引かないで



不器用
だっていい

グニョグニョ

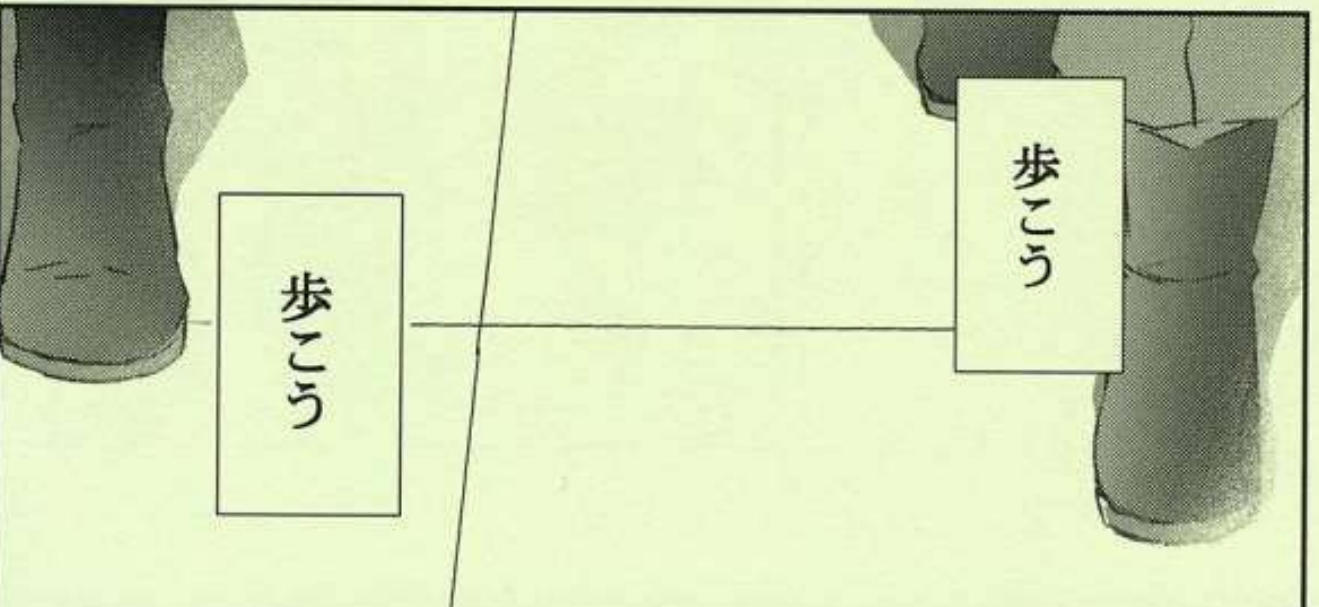
後ろからに
弱いわ



完ぺきで
なくていい

グニョグニョ

グニョグニョ



歩こう

歩こう

ところで
お前何の銘
もらったんだ？

えっし

きつ…
聞かないほうが
いいと思うよ

んせう
んせう

キヤ

未来へ



冬鋼準備号

2004 FANTASY WIND YURA SHINANO
FULLMETAL ALCHEMIST
パラレル近未来 BOOK ALU+EDO×WIN

■冬鋼準備号からの再録。
現物は鉛筆線のみでしたが（しかも印刷薄すぎて切ないことに
トーン貼って写植を打ち直してみました。

ウィンリィさんはあまり2人を意識していないけれど
2人はウィンリィの体つきの変化に
意識しまくりだと思えます。
兄弟が振り回してると見せかけて
実は兄弟が振り回されっぱなしな青春漫画？



出張
——
メンテナンス——



軍人になって
忙しいのは分かるけど
こっちにだって
都合してもんが
あんのよ!

うい——

あんなに



やー
いつもいつも
悪いな

まったくよ!!



でもそう言いながら
いつもウインリイは
来てくれるよね

そりゃ
大事な金づるですもの

キコキコ
キコ



それは
それ終わったらさ
お茶にしようよ

新しいお茶っ葉
買ったんだー

ん…?
どうかした?
こーいゝのなかこ
はなつてっ

お得意さん様と
お話ししたい



や
なんか
いいなーって

えー?
ムソレ



本当…
良かった…



いろいろ
あったけどさ

……



オレはー…ほら

優秀な機械鎧技師さんも
いることだし

ま。
言ってくれる
じゃない？

別に
ウインリイとは
高くておもしろ
は!!

あんた
出張料金
割増にするわよ

マシ
かんべん
して下さい

ムー
おれは
おれは
おれは

出張料
おれは
おれは

おれは
おれは
おれは

…
…
…



はい
おしまい!



ふふふ...



少しは
ちゃんと手入れ
してるみたいね

ん?
どうしたの?



い...
いや...別に...

ん?
してるわよ?

だってほら
肉付きが...

いいかげん
やめた方が
よくねえ?

なんで?

なんだってアンタは
そうデリカシーが
ないのよ!!

わ——
落ちついて!!
落ちついてウインリイ!!

バカ!!
豆!!

あそこは年中暑いから
つなぎちゃんを着てたら
暑いよ!!



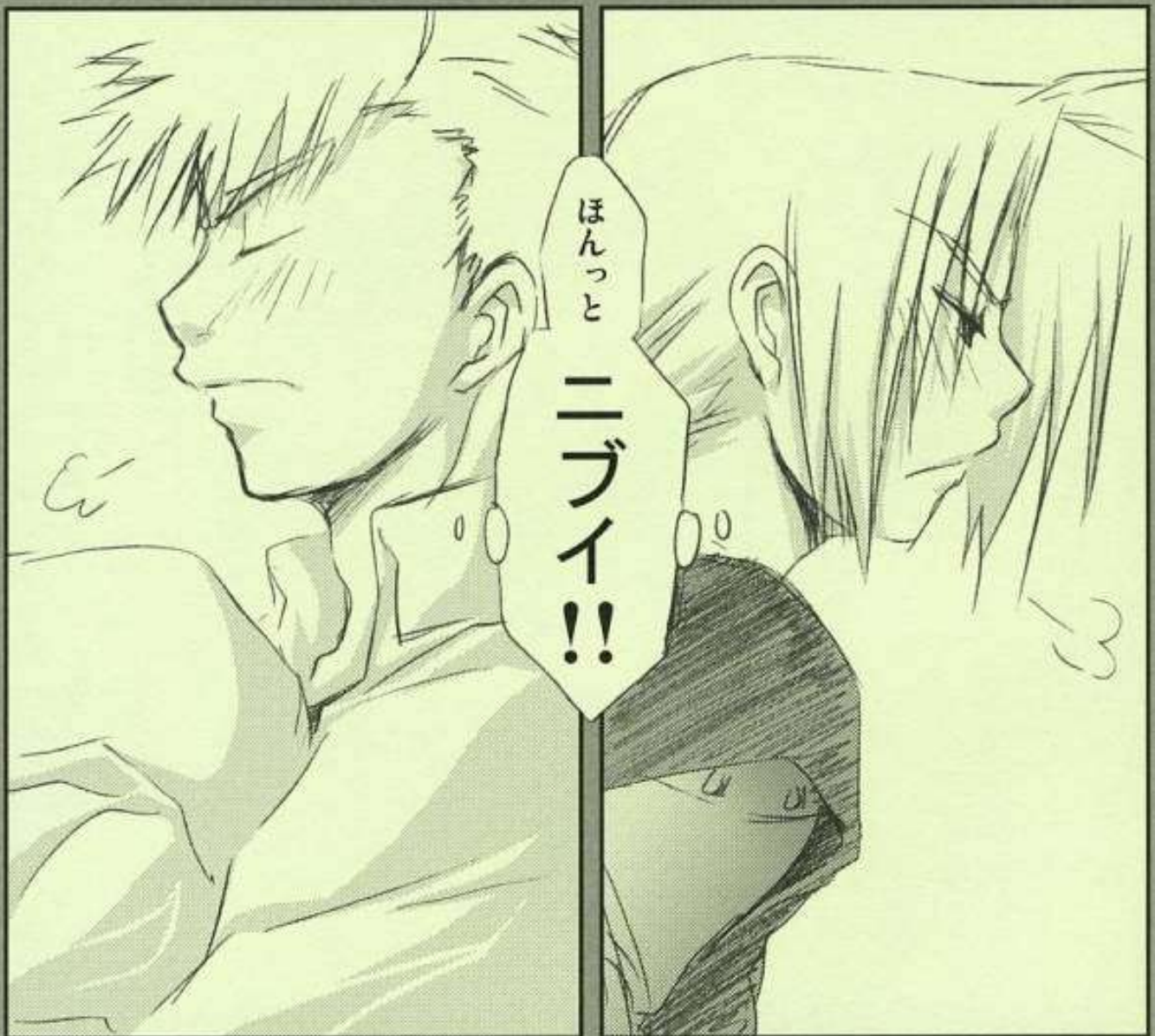
お前今日は
早く帰れよ

えっ!?
泊めてくれるんじゃ
ないの!?

うん
早く帰ったほうが
いいよ

え!?!
アルまでっ!!





To be...



だめーっ!!!

そうだ!!
昔みたいになり3人で寝よっか!

それは
いろいろと
マズイ!!

で。




いっぱいいっぱいな人 x 2

寝顔と寝顔中



おやすみ

寝不足。



これは…誰向けの本…？
自分向け…？そうか…そうか…！（自己完結
お疲れさまでした！
あきらかに初期に描いた絵と後期に描いた絵が
違いすぎてビックリです。
きつとえろ描く時に無駄に構図とか
意識しちゃったからだと思うんですが…ですが…
大人になりすぎだろ…。おおお…。
もうエドウィンがとかアルウィンがとかじゃなくて
この3人のバランスが好きです。
2人じゃだめな気がする。誰が欠けても影ができてしまう気が。
ああ、もう兄さんを返してあげてええええ…（がくり
今後の原作の展開と結末に大期待です。もう毎月はらはらはらはら。
旅の最後に何をできるのかを知りたいです。
何を犠牲にして何をできるのか。

えーとまあ、そんなわけで
いろいろと省いてしまった小ネタもあるんですが
アルの銘はお好きなのを考えて頂ければ。
嫌がってることを考えればきっと「鎧」あたりが素敵なんじゃないかと（笑
鎧の錬金術師…。鎧じゃないし。

銅本は今回で一区切りですが
まだまだHPとかで描いていたらなど。
そんな暇あるの…？
うーん。うーん。まあ熱が出た時で。
仕事がんばります。働くぞーおー

それではそろそろこの辺で
水無月さん、ゆーやん、秋刀魚、目黒さん、黒梯さん、
そしてこの本を読んで下さった方、
本当にありがとうございました。
またお会いできることを願って。

電話ボックス

「えーと、その…」
「大切な話があったんじゃないの？」
「や…、そうなんだけどよ…」
（何から言ったらいいか分かんねえ…）
「あ…あやま…気持…ち…う…あ…」
「もう、何なのよ！！！」
（えーい！）
「あのさ… 俺…っ

「……………」
「今からそっち行っていいか？」
「え！？ 今から…！？」
「直接
言わなきゃ意味ねえだろ」

「な…何を…？」
「行ったら言う」
「なっ…だったらわざわざ電話して
こなきゃいいでしょ！」
（不安に…なるじゃない…っ

「180倍」

「は？」

「いいから待ってるよ！！！」
がちゃん
「なっ」

何…？何なの…？
180倍…？180？ ひゃく…
「あ」

「……………」
（待ってるよ！）
「……あたしは
いつだって待ってたじゃない」

ウィンリィちゃんへ

僕はウィンリィちゃんが大好きです
弟のアルフォンスも好きだと言っていますが
アルフォンスの180倍

僕の方が大好きです！

「ちくしょう！！！」

エドワード・エルリック 4歳児のラブレターより

[FRAGMENT OF FUTURE]

FANTASY WIND

しなのゆら

2004/12/30

印刷：緑陽社様

御感想はこちらまで。
「FANTASY WORLD」

※ この本の18歳未満の方の購読、
無断での転載、複写等は一切禁止致します。

*Good you again!
Edward Elric
12/30*



*It is the greatest pleasure
to be able to help you in any way
I can. I will be glad to do so
without fail.*

*Before the great
I had and that I would bring
like a wonder.*

*It is the greatest
pleasure to be able to help
you in any way I can. I will
be glad to do so without fail.*

Very important notice

Notice is hereby given that the
following items have been found
in the possession of a student
of this institution and are
being held for the attention
of the authorities. The student
is requested to identify the
items and return them to the
proper authorities. Failure to
do so may result in disciplinary
action.

Very truly yours,
The Principal

FRAGMENT OF FUTURE

2004 FANTASY WIND
YURA SHINANO

FULLMETAL ALCHEMIST

THE BOOK OF THE PARALLEL WORLD OF THE NEAR FUTURE

EDO+ALU+WIN BOOK

<http://fantasywind.kir.jp/>